

フォーメーションの目的と使い方

平田 泉

”JAPANESE FOR COLLEGE STUDENTS, Basic” のフォーメーションに関し、その目的、構成、使い方の3点を以下にまとめる。

1. フォーメーションの目的

フォーメーションの目的は次の2点である。

- 1 文法の正確さと語彙・文型の正しい使い方、正確な日本語の音・アクセント・イントネーションを身につけ、各課の語彙・文型を修得する。
- 2 フォーメーションに続くドリル、ロールプレイをスムーズに行い、それらの活動の目的を達成するための準備を行う。

1は、つまり、必要な語彙を覚え、日本語の基本的な文の構造及びそれに伴う規則を理解し、単文・重文・複文レベルで（創造的な対話の形態まではこの段階ではいかない）置き換えや組み合わせによる、意味のある文が作成・発話ができるようになることである。

1と2は全く別のものではない。1が達成されることにより、2が結果として成されるものである。が、フォーメーションの性格を十分理解し、効果の上がる学習をするために2つの目的として意識されていることが重要である。特に、2を意識するか否かはフォーメーションをクラス活動としてどのように行うかに大きく関わってくるからである。

2. フォーメーションの構成

各課のフォーメーションの項目は、小さい単位（morpheme level）から大きい単位（phrase, sentence levels）へ、また単純なものから複雑なものへという流れで基本的に並べられている。各フォーメーションの各項目につけられた番号はその課の文法項目を示す Sentences の番号と呼応している。文の形に持っていくまでに小さい単位からの練習が必要な場合、またひとつの文型が複数の意味内容を表す場合は、1-1、-2、・・・というように、一つの項目番号の後ろに下部分類番号をつけ、そのステップ及び多義を示している。

フォーメーションの例文とキューは次の姿勢で表記されている。すなわち、発話として自然に省略される場合は積極的に省略するが、どこで何が省略されているかは知っているべきである。従って、省略される要素は教科書の紙面からは省略せずに（ ）に入れてそのまま残し、完全な文型を示すことを基本とするが、実際の口頭練習では（ ）の要素は省略するものとする。

添付の資料、表「フォーメーションの内容〔文法項目〕」が示す通り、当教科書は volume 1 の学習項目が多く、重い。これは当教科書が日本語学習の始めから「意味のあることが言えること」「言語を使って必要最低の用が果たせること」「日本語としてできるだけ自然であること」を目指し、シラバスを文法・機能・場面のそれを組み合わせたものとした、いわば必然の結果である。従って、volume 1 に関しては各課の学習項目の数と難易度に応じてクラスの時間を調整する必要がある。

3. フォーメーションの使い方

学習者の教室外での自主学習が可能であるように、フォーメーションは基本的に置き換え練習または結合練習である。教科書を見ることなくこれらの練習ができるようにとオーディオ・テープも用意されている。このテープには例題とキュー、そしてキューから作られべき文が入っている。

フォーメーションは、1 学習者の自習による予習、2 教師主導のクラス活動、3 学習者の自習による復習、の 3 つの段階で使う。各々の段階の目的と学習作業は以下の通りである。

3-1 学生の自習による予習

目的) 新しい課が始まる前にこれから学習することを知り、教室での教師との学習活動が効果的に行えるように準備する。

予習作業)

- －その課の Grammar notes を読む。理解できない点は教室で教師に尋ねられるように問いを準備しておく。
- －Appendicesにあるその課の新出語彙・表現に目を通す
- －オーディオ・テープを使って、フォーメーションをやってみる。必要なら、教科書を見ながらやってもよい。また、フォーメーションの語彙や文のアクセント、イントネーションにも馴染む。先にも述べたが、この教科書は初級の始めから日本語が実際使えるようになることを目指している。そのため、耳と口を使っての練習作業が可能な限り行われることが望まれる。フォーメーションは与えられたキューから作られるべき文（問題の答に当たる部分）を教科書に書かれた形で提示することを意図的に行っていない。が、オーディオ・テープには提示してある。これはこの教科書の目的に基づくものであり、フォーメーションの自主学習にはオーディオ・テープは不可欠である。

3-2 教師主導のクラス活動

目的) 教師は学生の文法の理解を確認し、彼らの疑問に答える。また、語彙・表現・文型の実際の言語活動の場での使い方を理解させる。

クラス活動)

- ー教室では基本的に教科書は開かない。
- ー文法のポイント及び新出語彙・表現の意味と使い方が理解できているかをチェックし、フォーメーションの文がスムーズに発話可能になる練習ができる活動を、与えられた授業時間に会わせて構成する。この活動は教科書のフォーメーションの部分を開いて問題を読みながら答を言わせる形は基本的に避ける。
1) 学習者の自習による予習ではこの形を採らざるを得ず、これに続くクラス活動が同様の形態で行われるのは単調である。また何よりも、2) この形態は教師の存在を有効に活かすものではない。教室活動は教師と学生がそこに存在していることが積極的な意味を持つようなものでなければならないこと、すなわち、両者が存在しなければならない活動を行うことを基本とするべきである。具体的な活動の例は、この教科書の教師用指導書(“Japanese for College Students, Basic, Teacher’s Manual” International Christian University, 1997)に挙げられている。

3-3 学生の自習による復習

目的) 学習したもの(語彙・文型・表現の意味と使い方など)を定着させる。また、正確な発音、アクセント、イントネーションを身につけ、流暢さを増す。

復習作業)

- ーオーディオ・テープのみでフォーメーションをもう一度行う。その際、発音・アクセント・イントネーションをできるだけ真似る。さらに、流暢さを伸ばすことにも留意する。
- ー最後に、発話の正確さを確認するためにキューを聞きながら、作られるべき文を(発話するのではなく)書く。語彙、助詞、活用形、文型などが正しいかどうかを目で客観的に確認するというモニター行動を加え、発話での正確さを堅いものにするためである

一つの課のフォーメーションに関わる作業・活動は以上のようにまとめられるが、すでに学習し終わっている課に関しても、学習したものの確実な定着を図るために、定期的に戻って3-3)の復習作業を繰り返し行うことを学習者に勧める。

資料 フォーマーションの内容 [文法項目]

vol.	Lesson	フォーマーションの内容	
1	1	1 2-1、2、 3-1、2、3、4 4-1、2、3 5	NはNです NのN Affirmative and negative ofです これ／それ／あれ／どれ も ("also")
	2	1-1、2、3 2-1、2、3 2-4 3-1、2 4 5 6 7-1 7-2 8	Numbers from 1 to 10000 ～時 (Counters(1): Time) ～曜日 (Days of the week) ～円 (Counters (2): Prices) ～は～円です 前、～は～円でした ～をください (Asking for something) [時間] から、[時間] まで ("from～、to～") [場所] から、[場所] まで ～でしょう ("Estimating")
	3	1-1 1-2 2-1 2-2 3 4 5 6-1、2 7	～分 ("Couters(3): minutes) ～時～分 V-ます、ません (ます conjugation-nonpast) [時間] に V-ます [場所] へ行きます／来ます ("Coming and going") V-ました、ませんでした (ます conjugation- past) [場所] で～を V-ました [手段] で V-ます NやN (mentioning examples)
	4	1 1-2 2-1、2 3 4 5 6-1 6-2 7 8	～時間 (Counters(4): Time spans) ～時間～分 ～月～日 (Months and dates) [人] に [物] を V-ます いっしょに・・・V-ませんか (Inviting) ・・・V-ましょう (Suggesting) 何も／だれにも／どこへも・・・V-ません 何か／どこか・・・V-ます ～時間 (～分)・・・V-ます ～日に・・・V-ます
	5	1-1 1-2 2-1、2 3-1 3-2 4-1 4-2 5	AN-です、AN-じゃありません、 A-いです、A-くありません／ないです ～は AN-です／A-いです A-いN、AN-なN A-いN → A-いの、(Replacing withの) AN-なN → AN-なの NのN → Nの (Omitting N) S1。それに、S2。 S1。でも、S2。 ～は～が AN-です／A-いです

6	1-1、2、3 2 3-1 3-2 4 5 6	~枚、台、人、さつ、こ、本、ひき、つ (Counters(5)) ~に~が あります ~に~が います ~には~が quantity あります/います ~に~が ありました/いました ~は ありますか ("Do you have or not") AかBはありますか -AもBもあります -A/Bはありますが、B/Aはありません -A/Bしかありません
7	1-1、2 2-1 2-2 3 4-1、2	~日、週間、か月、年、回 (Counters(6)) (わたしは) N が~です (likes, dislikes, skills) (わたしは) S のが~です (likes, dislikes, skills) いつも/たいてい/時々/あまり/ぜんぜん ~週間に~回 ("How often")
8	1-1 1-2 2 3-1、2 4-1 4-2	~は/が N に なります ~は/が AN に/A-く なりました (わたしは) ~が ほしいです (わたしは) ~が/を V-たいです N/ANだ、N/AN じゃない、A-い、A-くない、V-る、 V-ない (Non-past plain forms of predicates) Splain の/んです
9	1 2-1 2-2 2-3 3 4-1、2 5	・ ・ V-ましょうか ("Shall I~") V-て/ないで form ・ ・ V-てください ・ ・ V-ないてください S1 から、S2 (Reasons) ~は N の上/下・ ・ にあります (Locations(1)) ~は N のむこう/そば です (Locations(2))
10	1-1、3 1-2 2 3 4-1 4-2 4-3 5	ANでした、AN じゃありませんでした、A -くありませんでした/くなかったです、 [V-ました、ませんでした-L.3] (Past polite forms of adjectival nouns, adjectives, and verbs) ANだった、AN じゃなかった、A-かった、 A-くなかった、V-た、V-なかった (Past plain forms of adjectival nouns, adjectives, and verbs) Splain でしょう (👉) (Asking for agreement) ~で (The reason) ANで、AN じゃなくて、A-くて、A-くなくて (AN, A in て/なくて forms) S1-て、S2 (Joining AN/A clauses) S1-て、S2 (Stating the reason implicitly) S1-てから、S2 (Sequential activities)

2	1 1	1-1 Nする (するverbs) 1-2 ・ ・ ～を Nします / ・ ・ ～のNを します 2-1 V-ている (Action in progress) 2-2 V-ている (Habitual action) 2-3 V-ている (Result of an action that has taken place) 3 S1 plain あいだ、S2 ("While ~") 4 もう ・ ・ S plain-ましたか -はい/ええ、 ・ ・ V-ました -いいえ、まだ ・ ・ V-ていません
	1 2	1 V1-たり V2-たりします 2 S plain かもしれません 3-1 S plain と思います 3-2 S plain と思っています 4-1 V-(y)oo (Plain volitional from of verbs) 4-2 ・ ・ V-(y)oo と思います ("I intend to ~") 5-1、2 S1 plain とき、S2
	1 3	1-1 ～は/が Nが できます 1-2 ～は/が ・ ・ V-ることが できます 2-1 V- (r) areru (Verbs in potential from) 2-2 ～は/が ～が V- (r) are-ます 3 S1-て、 ・ ・ V- (r) are-ません/こまっています 4 なんでも/だれでも/どこへでも/ ・ ・ (Anything, anyone, anywhere...) 5-1 ・ ・ V-るようになりました ("Now one does ~") 5-2 ・ ・ V- (r) are- るようになりました ("Now one can ~") 6 ・ ・ V-ながら、S2 ("While ~")
	1 4	1 ・ ・ V-に行きます (Purpose of going, coming, or returning) 2-1 AはBより ・ ・ (Making comparisons:comparative) 2-2 AはBほど ・ ・ neg. 3 AとBと、どちらのほうが ・ ・ か -A/Bのほうが (B/Aより) ・ ・ 4 ～の中で/～と～と～の中で、なにが/どれ/だれ ・ ・ が一番 ・ ・ か -～が一番 ・ ・ (Making comparisons:superative) 5 V-たほうがいいです、V-ないほうがいいです 6 S1 plain ので、S2 (Explanations)
	1 5	1-1、2 ・ ・ V-ていきます/V-てきます 2-1、2 ・ ・ V-てみます (Try doing somethig and see) 3 ・ ・ V-たことがあります (A past experience) 4 ・ ・ V-るつもりです (Intentions)
	1 6	1 ・ ・ 3つも ・ ・ ("as many as 3...") 2-1、2、3、4 Review of plain forms: N/ANだ、A-い、V 2-5 Splain N (Noun modifiers: relative clause) 3 S1 plain けれども、S2 ("Although ~") 4 ～さい (Counters(7): Ages) 5-1、2 Family terms

	17	1 2 3 4-1 4-2 5	<p>・ ・ V-てもいいです (Permission:"May~")</p> <p>・ ・ V-なくてもいいです (Concession:"Don't have to ~")</p> <p>・ ・ V-てはいけません (Prohibition:"Must not ~")</p> <p>・ ・ V-なくてははいけません (Obligation:"Must ~")</p> <p>V-なくちゃ/V-なきゃ (Contracted forms)</p> <p>～までに ("By (time)")</p>
	18	1 2-1、2 2-3 3 4-1、2	<p>V-方 ("How to ~")</p> <p>N, AN, A, V in たら form</p> <p>S1-たら、S2 ("If/When ~")</p> <p>S1-ても、S2 ("Even if~")</p> <p>S plain かどうかわかりません ("I don't know whether~or not")</p>
	19	1 2 3	<p>～は／が～に～を あげます／さしあげます (Giving(1))</p> <p>～は／が (わたしに) ～を くれました／くださいました (Giving(2))</p> <p>～は／が ～に／から ～を もらいました／いただきました (Receiving)</p>
	20	1-1、2 1-3 1-4 1-5 2 3 4	<p>・ ・ [人に～をV-て] あげました／さしあげました (Giving(1):Doing something for someone)</p> <p>・ ・ [人の～を V-て] あげます／さしあげます</p> <p>・ ・ [人をV-て] あげます／さしあげます</p> <p>・ ・ 人のために [・ ・ V-て] あげます／さしあげます</p> <p>・ ・ (わたしのために) [・ ・ V-て] くれます／くださいます (Giving(2):Someone does something for me)</p> <p>・ ・ [人に・ ・ V-て] もらいます／いただきます (Receiving: Having something done for oneself)</p> <p>・ ・ V-てくれませんか／V-てくださいませんか／V-ていただきたいんですが (Requesting)</p>
3	21	1 2 3-1 3-2 4-1 4-2	<p>Expressions for telling more information about oneself</p> <p>～をV-ます v.s. ～がV-ます (Transitive vs. Intransitive)</p> <p>～が Vint.-ています (Describing a state)</p> <p>S plain ので、～が Vtr.- ています (A state which has been brought about)</p> <p>S1 plain と、S2 (Stating the general/inevitable/habitual consequence of an action or situation)</p> <p>S plain いいですね ("I hope/wish~")</p>
	22	1 2-1、2 3 4 5-1、2	<p>V-ておく [V-とく] (Doing something beforehand)</p> <p>V-てしまう [V-ちゃう] (Finishing up V-ing)</p> <p>S1 まえに、S2 ("Before doing ~")</p> <p>S1 あとで、S2 ("After doing~")</p> <p>S1 うちに、S2 ("While~")</p>
	23	1 2 3 4 5	<p>A/AN/V-すぎる ("Overdoing it/Too~")</p> <p>Wh-word ・ ・ ・ ても、・ ・ ("No matter ~")</p> <p>・ ・ と／ように伝えてください (Leaving a message)</p> <p>～によると、Splain そうだ ("Reporting hearsay")</p> <p>～にSplain と書いてあります (Quoting)</p> <p>[人] はSplain と言っています</p> <p>[人] からSplain と聞きました</p>

2 4	1 - 1 N の/Splainために、S2 Cause/Reason and its consequence) 1 - 2 N の/Splainために、S2 (Stating a purpose) 1 - 3 N の/SplainためのN (For(the sake of) ~) 2 S1plain ように、S2 ("Doing something so that~/In such a way that ~") 3 S1 あいだに、S2 ("While ~/During~") 4 S1 し、S2 (Joining two or more sentences to make an implication)
2 5	1 - 1 -ば／-なければ (Conditional form) 1 - 2 S1 -ば、S2 (Stating a condition and its consequence) 2 S-ばいいです (Giving advice) 3 S-ばよかった ("I wish I had ~") 4 S1-のに、S2 ("Although~")
2 6	1 いらっしゃる／おる・・・ (Special honorific and humble verbs) 2 - 1 人vs.方 (Plain/Humble nouns vs. Polite /Honorific nouns) 2 - 2 元気vs.お元気 (Plain/Humble, Polite/Honorific adjectival nouns and adjectives) 3 N です、N でいらっしゃいます、N でございます (Plain, honorific, humble/very polite forms of だandある)
2 7	1 お／ご V-になる (Honorific verb phrases) 2 お／ご V- する、お／ご V- いたす (Humble verb phrases) 3 お／ご V-ください (Honorific requests)
2 8	1 - 1 V-(r)are-ru (Passive form of verbs) 1 - 2、3、4、5、6 (Passive sentences) -カレンさんは先生にほめられました -ジョンさんは知らない人に道を聞かれました -わたしは友達にケーキを食べられました -わたしは雨に降られました -まんがは若い人によく読まれます -「ハムレット」はシェイクスピアによって書かれました -このてらは6世紀に建てられました 1 - 7 ・・・[人] に・・・V-てもらいました (Receiving someone's favor) 2 ・・・V-ないで、S
2 9	1 - 1 V -(s)ase-ru (Causative verb form) 1 - 2 (Causative sentences: making someone do something) -先生は学生に短いスピーチをさせます -お母さんは子どもに／を一人で買い物に行かせます 2 - 1 V -(s)ase-rare-ru (Causative-passive verb form) 2 - 2 (Causative-passive sentences: being made to do something) -日本語のクラスでは (学生は先生に) 漢字をたくさん覚えさせられます 3 - 1 V -(s)ase-てください (Requesting) 3 - 2 -(s)ase-ていただきたいんですが・・・ (Requesting very politely)
3 0	1 Splainらしいです (Conveying inferences based on what you hears or read) 2 Splainようです (Conveying inferences based on visual information) 3 - 1、2、3 Splainそうです ("It looks like ~")